

取扱・工事説明書

貯蔵式電気湯沸器（ハイエレクトUシリーズ）

はじめに

このたびは細山熱器（株）貯蔵式電気湯沸器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、本機の性能を十分に発揮できますよう正しいお取扱いをお願いいたします。尚、この取扱い説明書は、身近に保存して必要な時に読めるようにして下さい。

取扱・工事説明書の表記

製品を正しくお使いいただく為や、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書及び製品への表示はいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警 告

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。



注 意

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定されることを表しています。

目 次

取扱説明編

各部の名称	2
ご使用前に	3
使用方法	5
ハイエレクト完全マスタ	6
日常の点検とお手入れ	8
故障かな？と思ったら	9
長期間使用しない時	10

工事説明書編

警告事項	11
設置に関する注意事項	11
仕様	14
アフターサービスについて	17
取扱説明書の再入手方法	17

◎ 特に注意して頂きたいこと



警告

- ・ 銘板に表示してある電源を使用してください。機器が破損又は故障します。
- ・ 機器の設置、移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼し安全な位置に正しく設置して下さい。
- ・ この機器は屋内設置型です。水の掛かる場所や屋外には設置しないで下さい。故障や事故の原因になります。
- ・ 機器及びその周囲には燃えやすいものを貼ったり、掛けたり、置いたりしないで下さい。火災の原因になります。
- ・ 給湯栓からは熱湯が出ますので十分に注意して下さい。やけどの恐れがあります。
- ・ 機器の分解、修理、改造はしないで下さい。事故や故障の原因になります。
- ・ 濡れた手で器具に触れないでください。感電することがあります。
- ・ 万一異常を感じた場合には、直ちに運転を停止し「故障かな?と思ったら」に従ってください。



注意

- ・ この機器は給湯(飲料、給湯)用を使用する目的で作られていますのでそれ以外には使用しないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- ・ この機器は給湯用です。水以外のものを入れないで下さい。思わぬ事故の原因になることがあります。
- ・ 使用中及び使用後は配管等、部分によっては熱くなっていますので手を触れないでください。
- ・ 電源プラグの差し込みは確実に行って下さい。過熱や火災の原因になります。
- ・ 電源コードは無理に引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せないで下さい。コードが傷み火災の原因になります。
- ・ 流し台シンクに熱湯を流さないで下さい。シンクや排水管を破損することがあります。

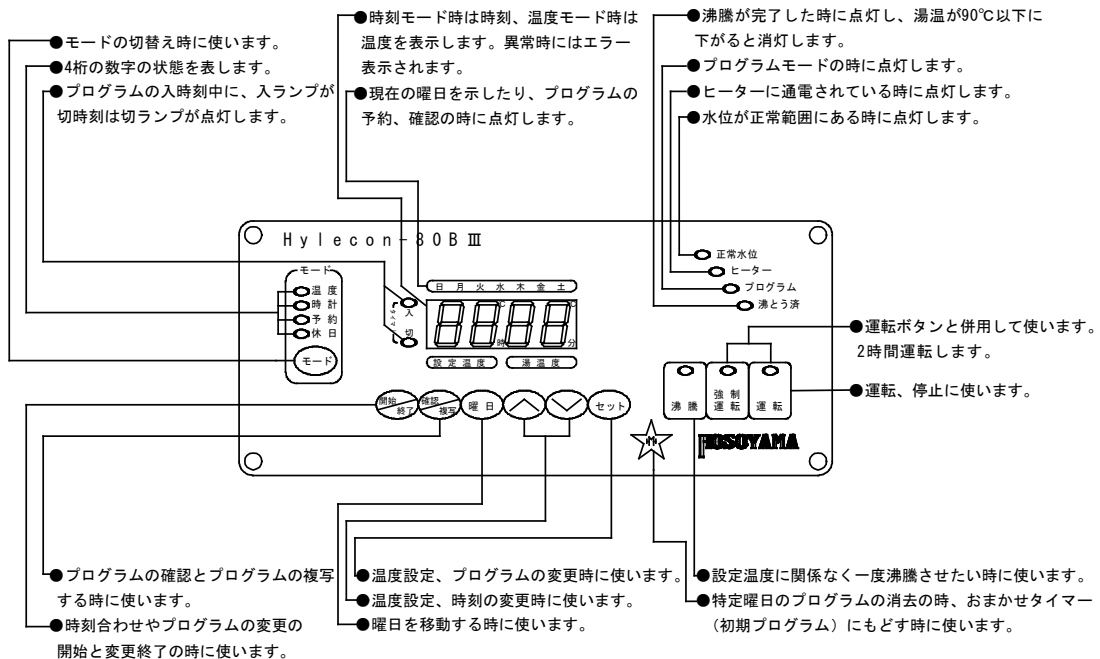
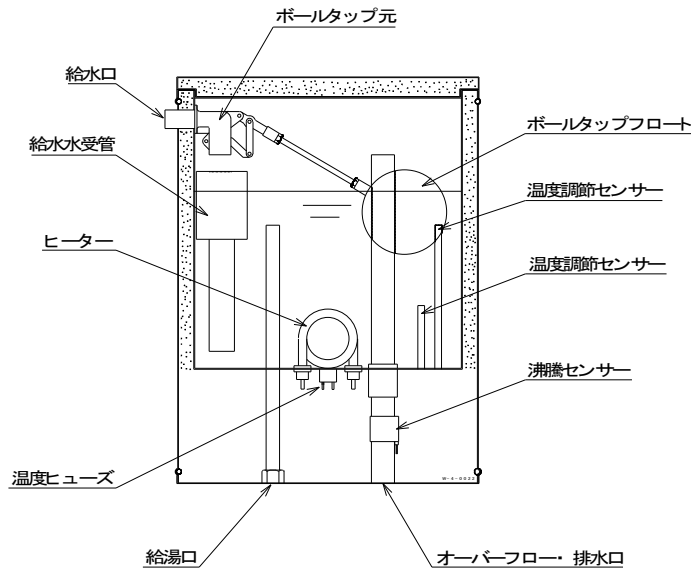
お願い

1. 使用者が変わった場合には必ず本書を読ませ、かつ指導してください。
2. ご使用後は水漏れ事故防止のため給水栓を閉めて下さい。但し、自動給排水機能の付いた機種を除きます。
3. 井戸水は使用しないで下さい。機器の寿命を縮めます。
4. 電源プラグを抜く時はコードを引っ張らないで下さい。断線して発熱や火災の原因になります。
5. 雷による一時的な過電流やノイズで電子部品を破損することがありますので雷が発生した時は、速やかに電源プラグをコンセントより抜いて下さい。
6. 熱湯を流す時は同時に水を流し、流し台シンクや排水管に熱湯を流さないように十分注意して下さい。
7. 本体や配管に布巾等をかけないで下さい。火災や配管に無理がかかり水漏れ等事故の原因になることがあります。
8. 機器に異常がない場合でも、末永く安全に使用して頂きますために、1年に1回程度の定期点検(オーバーホール)を推奨します。定期点検は、有料となります。詳細については、販売店または細山熱器(株)サービス課にお問い合わせ下さい。

取扱説明編

器具をご使用になる方へ

各部の名称



ご使用の前に

- ・給水栓を開き、すべての給湯栓から水の出ることを確認して下さい。
- ・機器本体、及び周囲に異常がないことを確認して下さい。
- ・電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
- ・時計を現在時刻に合わせて下さい。おまかせタイマーがセットされています。

◎ おまかせタイマーの内容

曜 日	沸き上がり時刻	切り時間	設定温度
月 曜 日 ~ 金 曜 日	8 : 3 0	1 7 : 3 0	F U
土 曜 日	8 : 3 0	1 2 : 0 0	F U
日 曜 日	---	---	---

■時計合わせ

1. **運転**を2秒間押し、運転をOFFにして下さい。
2. **モード**を押し時計に合わせる。
3. **開始/終了**を押す。
4. **曜日**を押し今日の曜日に合わせる。
5. **▲ ▼**を押し時刻を合わせる。
6. **セット**を押す。

■時計確認

1. **モード**を押し時計に合わせる。
現在時刻が表示され、15秒後に温度表示に戻ります。

■学習運転

◎はじめてお使いになるときは、一度学習運転を行なってください。

学習運転は沸き上げデーターを取るための運転です。このデーターを基に次回より、沸き上がり時刻に沸き上げます。

学習運転方法：**☆**を押しながら運転を押す。

学習運転中は、プログラムランプが点滅しています。

◎ メ モ

学習運転は、プログラムタイマーの「入」時間帯と「切」時間帯とでは動作が異なります。

「入」時間帯の場合：

学習運転を行なうと同時にヒーターがONになりプログラムランプは点滅します。沸き上がるとプログラムランプは点灯に変わります。

「切」時間帯の場合：

プログラムランプは点滅状態になりますが、すぐにはヒーターに通電されません。次の沸き上がり時刻の2時間前にヒーターがONになり沸き上げます。沸き上がるとプログラムランプは点灯に変わります。

◎学習運転時の注意

プログラムランプが点滅状態でヒーターがONの時はお湯を使用しないで下さい。
データに誤りが生じます。一度、学習運転を終了しますと改めて学習運転を行なう
まではデータは保持されますので運転のON、OFFだけでご使用ください。

◎学習運転を行なわなかった場合

学習運転を行わずに運転を押して、使用開始した場合は、設定されている沸き上がり
時刻の2時間前にヒーターがONになり沸き上げます。

■おまかせタイマーを変更して御使用になる場合

おまかせタイマーを変更して御使用になる場合を例にして説明します。もっ
と詳しく知りたい方はハイエレコン完全マスターを参照してください。

おまかせタイマーは

月曜日～金曜日	湧き上がり時刻	8時30分	切時刻	17時30分	温度FU
土曜日	湧き上がり時刻	8時30分	切時刻	12時00分	温度FU

でセットされています。(FUは沸騰を表します。)

それを下記のように変更する場合、

月曜日～土曜日	湧き上がり時刻	8時30分	切時刻	17時30分	温度95℃
---------	---------	-------	-----	--------	-------

1. **運転** を2秒間押しOFFにして下さい。
 2. **モード** を押し予約に合わせる。
 3. **開始/終了** を押す。「入」ランプと月曜ランプが点灯し、4桁の表示が
8:30で点滅
 4. **入** 又は **V** を押して沸き上がり時刻を9:00に合せる。
 5. **セット** を押す。「切」ランプと4桁の表示が17:30で点滅
 6. **入** 又は **V** を押して切時刻を17:00に合せる。
 7. **セット** を押す。温度ランプと左2桁がFUで点滅。
 8. **入** 又は **V** を押して左2桁の温度を95に合せる。
- 注：早送りした場合、一旦95で止まりますので再度押すとFUになります。
9. **セット** を押す。
 10. **確認/複写** を押す。(複写機能になります。) 月曜日が遅い点滅をして
火曜日が早い点滅をする。遅く点滅している曜日のプログラム内容を早
く点滅している曜日に複写します。複写する曜日を飛ばす場合は**曜日**
を押して早い点滅をしている曜日をずらして下さい。飛ばした曜日はおまか
せタイマーが残っています。
 11. **セット** を押して火曜日に複写する。火曜日が点灯し水曜日が早い点滅。
 12. **セット** を押して水曜日に複写する。水曜日が点灯し木曜日が早い点滅。
 13. **セット** を押して木曜日に複写する。木曜日が点灯し金曜日が早い点滅。
 14. **セット** を押して金曜日に複写する。金曜日が点灯し土曜日が早い点滅。
 15. **セット** を押して土曜日に複写する。土曜日が点灯し日曜日が早い点滅。
 16. **開始/終了** を押す。
 17. **曜日** を押し、各曜日に合せ**確認/複写** を押して変更したプログラム内容
になっているか確認する。
 18. **運転** を押しONにする。

◎ 特定曜日のプログラム消去

特定曜日のプログラムの内容を消去します。消去した曜日には何も残りません。おまかせタイマーの内容も消えます。

1. **運転** を2秒間押しOFFにしてください。
2. **モード** を押し予約に合わせる。
3. **開始/終了** を押す。
4. **曜日** を押して消去したい曜日に合わせる。
5. **☆** を押しながら **確認/複写** を押す。4桁の表示が----の点滅になる。
6. **セット** を押す。2秒後にもとの温度表示に戻る。
7. **曜日** を押して消去した曜日に合わせる。
8. **確認/複写** を押し、---- の表示になるのを確認する。
9. **運転** を押しONにする。

使用方法

■おまかせタイマー（初期プログラムの場合）運転の場合

- ・ **運転** を押しONにしてください。運転ランプが点灯します。

■強制運転の場合

1. **運転** が押し込められていることを確認してください。
 - ・ 運転ランプが点灯しています。
2. **強制運転** を押し込んでください。強制運転ランプが点灯し2時間運転します。

■沸騰運転

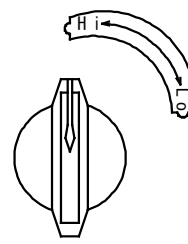
- ・ **沸騰** を押し込んでください。沸騰ランプが点灯し設定温度に関係なく再沸騰します。

■停止

- ・ **運転** を2秒間押し続けるとランプが消灯し停止状態となります。

■混合湯の温度調節方法（HDEN-W,HDEN-Sのみ）

湯沸器本体の左側面に付いている温度調節ダイヤルを時計方向に回すと低温になり反対方向で高温になります。



◎メモ

運転スイッチは常時ONの状態にしておいてください。マイコンがプログラムに従って自動運転します。運転がOFFの状態ではプログラムが働きません。

■休日停止の設置方法

祝・祭日、夏休み、臨時休業等でご使用にならない時は、休日停止機能によって設定した曜日より連続で最長99日間運転を停止することができます。尚、設定できる曜日は当日を含む1週間先までです。

例： 本日が月曜日として木曜日が祭日で木曜日 1 日を停止する場合、

1. 運転 を 2 秒間押し OFF にして下さい。
2. モード を押し休日に合わせる。
3. 開始/終了 を押す。月曜日と 0 が点滅する。
4. 曜日 を押し木曜日に合わせる。
5. ∧ 又は V を押し 0 1 に合わせる。
6. セット を押す。もとの温度表示に戻る。
7. モード を押し休日に合わせる。木曜日ランプが点灯し、0 1 になっていることを確認する。
8. 運転 を押し ON にする。

ハイエレコン完全マスタ

このマイコンは、初期プログラムを含め 2STEP/日×7 日で 14 プログラムを組むことができます。さらに、初期プログラムは変更も可能です。(1 日の時刻設定範囲は 00:00~23:59 です。)

1. プログラムの入力

- 1-1 運転 を 2 秒間押し運転を OFF にして下さい。
- 1-2 モード を押し予約に合わせる。
- 1-3 開始/終了 を押します。
- 1-4 曜日 を押し希望曜日に合わせて下さい。
- 1-5 ∧ 又は V を押し 1STEP の沸上がり時刻を合わせて下さい。
- 1-6 時刻が合いましたら セット を押しして下さい。
- 1-7 ∧ 又は V を押し 1STEP の切り時刻を合わせて下さい。
- 1-8 切り時刻が合いましたら セット を押しして下さい。
- 1-9 ∧ 又は V を押し希望温度に合わせて下さい。
温度を上昇させる場合一旦 95℃ で止まりもう一度押すと F U になります。設定範囲は 30~95℃、95℃ 以上は F U (沸騰) 表示となります。
- 1-10 温度が合いましたら セット を押しして下さい。
入りランプと時計ランプが点灯し、4 桁の表示は----の点滅表示になります。

~~~~~ 以上で 1STEP の入力が終わりました。~~~~~

1STEP で終了する場合は開始/終了を押して終了です。  
2STEP へ進む場合は開始/終了を押さずに次 (1-11) へ進んで下さい。

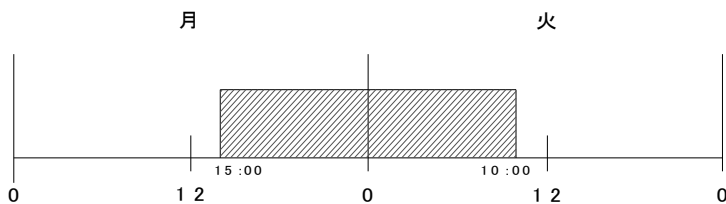
- 1-11 ∧ 又は V を押し 2STEP の沸上がり時刻を合わせて下さい。
- 1-12 時刻が合いましたら セット を押しして下さい。  
切りランプが点灯し、4 桁の表示は----で点滅表示になります。
- 1-13 ∧ 又は V を押し 2STEP の切り時刻を合わせて下さい。
- 1-14 時刻が合いましたら セット を押しして下さい。
- 1-15 ∧ 又は V を押し 2STEP の温度を合わせて下さい。
- 1-16 温度が合いましたら セット を押しして下さい。
- 1-17 開始/終了を押して終了です。温度ランプが点灯し、元の表示に戻ります。

~~~~~ これで 1 日の入力が終わりました。運転を押し ON にして下さい。~~~~~

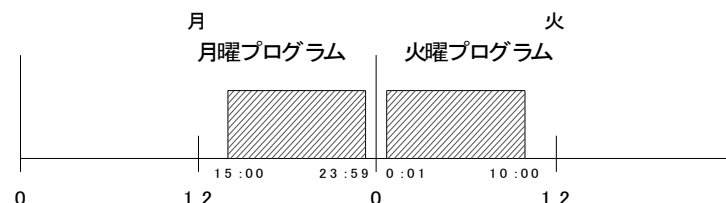
2. プログラム入力の注意事項

2-1 日渡動作はできません。

- 動作しません。



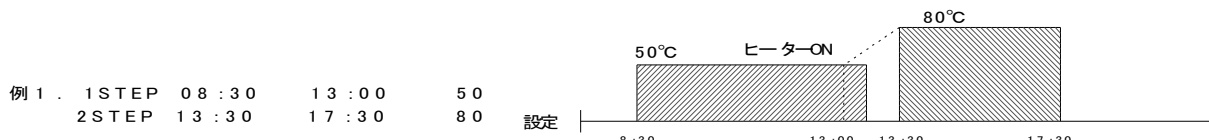
- 対策



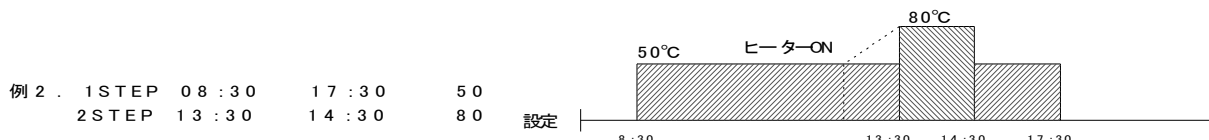
- 設定プログラム

| | | 湯上り時刻 | 切時刻 | 設定温度 |
|---|-------|-------|-------|------|
| 月 | 1STEP | 15:00 | 23:59 | FU |
| 火 | 2STEP | 0:01 | 10:00 | FU |

2-2 1STEP と 2STEP の動作が重なった時



2STEP の沸き上がり時刻が 13:00 のため、50°Cから沸騰までの沸き上げに要する時間によって、13:00 以前にヒーターが ON になる場合があります。



13:00 が沸き上がり時刻のため、13:30 以前にヒーターが ON になり沸騰まで沸き上げます。尚、学習運転を行なった場合について説明しましたが、学習運転を行なわない場合は、沸き上がり時刻の 2 時間前よりヒーターが ON になりますので注意して下さい。

3. 複写

他の曜日と同じ場合は、曜日と複写で他の曜日に複写します。

- 3-1 1-10 又は 1-16 の後に確認/複写を押します。

入力した曜日(変更した)ランプが遅い点滅をされていてその次の曜日ランプが早い点滅をします。その他の曜日ランプは消えています。

- 3-2 選択はセットを押して下さい。

早い点滅をしている曜日を選択する場合は、セットを押して下さい。選択した曜日が点灯し、次の日が早い点滅をします。

- 3-3 曜日を飛ばす場合は曜日を押します。

早い点滅をしている曜日を選択しないで飛ばす場合は、曜日を押して下さい。早い点滅をしている曜日が次の曜日に移動します。

- 3-4 3-2、3-3 の操作をしながら 1 週間が終わりましたら開始/終了を押します。

~~~~~ これで終了です。温度ランプが点灯し温度表示に戻ります。~~~~~



#### 4. プログラムの確認

- 4-1 **曜日**を押して確認したい曜日に合わせます。(15秒以内に次の動作を行って下さい。)
- 4-2 **確認/複写**を押します。  
沸上がり時刻→切り時刻→温度→2STEP 沸上がり時刻→切り時刻→温度の順番に表示後、元の表示に戻ります。

#### 5. 初期プログラムに戻す時

操作方法がわからなくなった時や初期プログラム(おまかせタイマー)に戻す時は下記の手順で工場出荷時の設定に戻すことができます。

- 5-1 **運転**を2秒間押ししてOFFにしてください。
- 5-2 **☆**を押します。  
4桁の表示が0000の点滅表示になります。(15秒以内に次の動作に移って下さい。)
- 5-3 **セット**を押します。  
4桁の表示が0000の点灯になり2秒間表示された後、温度表示に戻ります。

#### 6. 安全装置が作動した時の処置方法

故障かな?と思ったらをご参照下さい。

#### 7. 使用時の一般的な注意事項

- ・排水を行う時は湯沸器の温度が下がってから行って下さい。熱湯が出て火傷の原因になります。
- ・流し台シンクや排水管保護の面からも排水は温度を下げてください。シンクや排水管が破損することがあります。

## 日常の点検とお手入れ



- ・お手入れは湯沸器が十分にさめてから行なって下さい。
- ・内部には熱湯が入っています。十分注意して下さい。

#### ◎点検項目

安全にお使いいただく為に日頃の点検が必要です。月に一度程度下記の項目を点検して下さい。

1. 電源コードが破損、変色していたり熱をもっていないかあるいは接続部のがたつき、ゆるみがないかを確認して下さい。
2. 本体下部や配管接続部にゆるみやがたつき水漏れまた、水が漏れた痕がないか確認して下さい。
3. オーバーフロー管が物等で塞がれていないか確認して下さい。
4. オーバーフロー管から常時お湯が流れていないか確認して下さい。
5. 本体や配管等に布巾等が掛けていないか確認して下さい。

異常がある場合にはそのまま使用せずに必ず修理をしてからお使い下さい。

◎清掃方法



**注意**

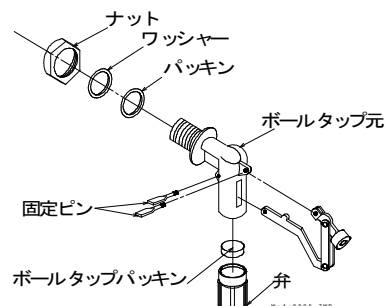
- 清掃を行なう場合、操作部（マイコン）に水がかからないようにして下さい。防水仕様ではありませんので故障の原因になります。

**お願い**

給水、給湯、オーバーフロー管のパッキンのキズや劣化は、オーバーブローや漏水の原因となります。その場合はパッキンを必ず交換をしてください。

■ボールタップパッキンの取替方法

1. 給水接続をはずします。
2. ボールタップ固定ナットをスパナ等で外し 弁を抜きます。
3. パッキンを取り替えます。  
パッキンが外れない時は、千枚通し等のとがったものでこじると外れやすくなります。



**故障かな？と思ったら**



**注意**

- ・ 不良や異常のままの状態でご使用になると事故の原因になりますので電源を切り直ちに使用を停止してください。

使用中に何らかの原因により安全装置が働いたときは、ヒーターへの通電は遮断され、アラームが鳴りエラーコードが表示されます。このような場合には、**運転** を2秒間押し運転をOFFして下さい。アラームは止まりますがエラーコード表示は残ります。原因を取り除いた後、運転を押しして運転をONにして下さい。エラーコードは修理の際必要となりますのでメモしておいて下さい。

■エラーコードの内容

| 記号  | 内容                    | 処置                                                                                                                                                                        |
|-----|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| E 0 | 低水位異常                 | ・ 水が入っていません。水を入れて下さい。純水を使用しますと水位センサーが働きませんので使用前にご相談下さい。                                                                                                                   |
| E 1 | 沸騰センサー断線              | ・ センサーの交換が必要です。                                                                                                                                                           |
| E 2 | 温度調節センサー断線            | ・ センサーの交換が必要です。                                                                                                                                                           |
| E 3 | 温度ヒューズ断線              | ・ 温度ヒューズの交換が必要です。                                                                                                                                                         |
| E 4 | 温度調節センサーまたは、沸騰センサーの異常 | ・ 温度調節センサーまたは、沸騰センサーが外れています。点検が必要です。                                                                                                                                      |
| E 5 | 沸騰センサーの異常             | ・ 沸騰センサーが検出できない状態にあります。蓋がきちんと閉まっているか、オーバーフロー管の経路が詰まっていないか確認して下さい。オーバーフロー管が上り勾配になっていると凝縮水が溜り正常に作動しなくなりますので必ず下り勾配にして下さい。<br>・ その他の場合は点検が必要です。<br>注：設定温度を沸騰(FU)以外にすると使用できます。 |
| E 6 | 高水位異常                 | ・ ボールタップを清掃して下さい。それでもオーバーフローする時はパッキンを交換して下さい。（お手入れ参照）                                                                                                                     |

|     |                   |                                                                                                                                 |
|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| E 7 | 沸き上げ不能又は全てのセンサー異常 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒーターの断線、リレーの故障か又は全てのセンサーの異常です。点検が必要です。</li> <li>・お湯を1時間以上使用していると発生することがあります。</li> </ul> |
| E 9 | 温度センサーの異常         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度センサーが外れていますので点検が必要です。</li> </ul>                                                      |

## ■その他の異常

| 内 容      | 確 認 事 項                                                                                                                                     |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水もお湯も出ない | <ul style="list-style-type: none"> <li>・断水ではありませんか？</li> <li>・給水栓が開いていますか？確認してください。</li> </ul>                                              |
| お湯にならない  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご使用量が多くありませんか？すこし時間をおいてください。時間が経っても沸かない場合は点検が必要です。</li> </ul>                                       |
| 表示が何も出ない | <ul style="list-style-type: none"> <li>・停電ではありませんか？</li> <li>・電源のプラグがきちんとコンセントに差し込んであるか確認してください。</li> <li>・漏電ブレーカ等が「切」になっていませんか？</li> </ul> |
| 地震や火災の時  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あわてずに電源を切ってください。</li> <li>・熱湯が飛び散ることがあるので注意してください。</li> </ul>                                       |

上記の項目を確認しても思うように動作しない場合は機器の修理、点検が必要です。使用を中止しアフターサービスについてをご参照の上販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

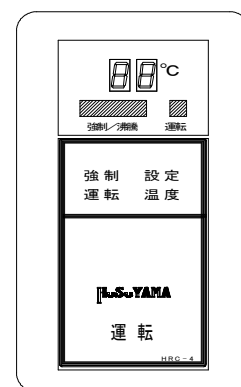
## 長時間使用しない時

長期間ご使用にならない場合は、電源コードを抜いて下さい。この場合、休み明けには電源コードを接続して下さい。尚、電源の入っていない状態が2週間以上過ぎている場合には時計合わせが必要になることがありますのでまず時計を確認して下さい。また、衛生上タンクの水を入れ替えて下さい。夏休み、臨時休日、祭日で使用しない場合は、休日停止機能がありますのでこちらを御利用して下さいと休日開けでもお湯が沸いていますのでとても便利です。又、休日停止を設定した場合は必ず運転を押してONにして下さい。

## オプション

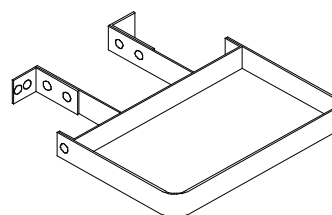
リモコン・・・ 最大20m離れた箇所から温度表示、異常表示、運転のON・OFF、表示切り替え、タイマー「切」時の強制運転2時間運転が可能です。

DEN用固定金具・・・ 置台式の湯沸器を壁に固定します。



HRC-4

W-4-0017\_ZWD



# 設置工事説明編

## 設備業者及び工事をされる方へ



### 警告

- この機器を安全に正しくご使用頂く為にこの設置工事説明編をよくお読みになり指定された工事を行って下さい。



### 注意

- この機器は屋内用です。屋外への設置は出来ません。  
機器が使用する電源に適合していることを銘板で確認して下さい。

#### ■ 設置場所の確認

- 設置場所の決定に当たってはお客様と浴相談の上決定して下さい。

#### ■ 火災予防上の注意

- 周囲の可燃材料との離隔距離を 50mm 以上保つこと。(東京消防庁管内に於いては密接可) 但し上方は 200mm 以上。
- 周囲の可燃材料との離隔距離を保てない場合は、防熱板等の処置を行って下さい。(離隔寸法等の基準は各地方自治体により異なる場合があります。)
- 引火危険物を扱う場所には設置しないで下さい。

|          |             |
|----------|-------------|
| 型式       | HDEN-12     |
| 貯湯量      | 12L         |
| JET      |             |
| 相        | 単相          |
| 定格電圧     | 200V        |
| 定格消費電力   | 1.5kW       |
| 定格周波数    | 50Hz・60Hz共用 |
| 使用場所     | 屋内用         |
| 細山熱器株式会社 |             |
| 製造年月日    |             |

#### ■ 設置場所の周囲に関する事項

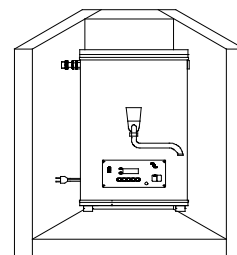
- コンロ、レンジの上方など燃焼排気の上昇する位置には設置しないで下さい。
- 火災予防条令の基準に従って非常口(避難通路)から離隔距離を取ってください。
- 冷暖房装置の吹き出し口の近くには設置しないで下さい。
- 出来るだけ機器の取り付け、取外しが容易に出来る場所を選び、メンテナンススペースを確保して下さい。

#### ■ 設置場所の雰囲気に関する事項

- 腐蝕性ガスの発生する場所には設置しないで下さい。
- 浴室等湿気の多い場所には設置しないで下さい。

#### ■ 設置上の確認

- 付属品の金具あるいは、取付プレートを必ず使用して下さい。
- 湯沸器単独で漏電ブレーカを取付け、アースは必ず取って下さい。
- オーバーフロー管の処置は、必ず下り勾配にして下さい。



W-4-0022.ZWD

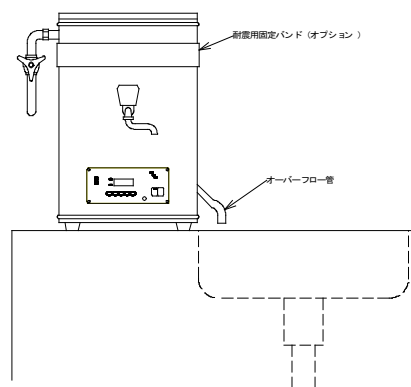
#### ■ 設置状態の確認

- 置台型の機器は、水平な場所に確実に設置して下さい。
- 壁掛型の機器は、壁等に確実に固定して下さい。
- 可燃性の部分から十分離れてあり電氣的ノイズが発生しない場所に設置して下さい。

## ■機器の標準設置例

### ◎置台式（DEN型）の場合

- ・ 水平かつ湯沸器の満水時の重量に耐える台の上に設置して下さい。
- ・ 給水配管は、壁等にしっかりと固定して下さい。
- ・ 給水配管には、必ず止水栓を設けて下さい。
- ・ オーバーフロー管は順勾配に配管して下さい。
- ・ 耐震用には、別売のDEN固定金具を使用して下さい。



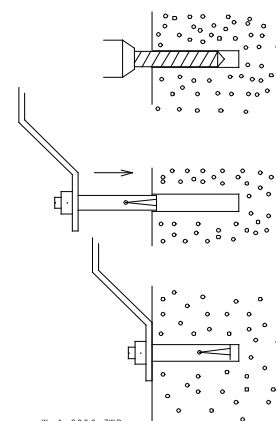
### ◎壁掛式（HDEN型）の場合



## 注意

- 湯沸器に給水すると重量が増加しますので取付ける壁の強度には十分注意して下さい。

- ・ 取り付け壁面にプレート当てて穴あけの位置決めをして下さい。
- ・ 壁に 8.2～8.6mm の径で深さ 45mm の穴を水平に開けて下さい。
- ・ ダイナボルトのナットとワッシャーを取り外しプレートの穴の裏側よりダイナボルトをそれぞれの穴に挿入し、ワッシャー、ナットで仮締めして下さい。
- ・ プレートにダイナボルトを仮締めした状態のまま穴あけしたそれぞれの穴に同時に挿入して下さい。
- ・ それぞれ確実に挿入をした後でナットを本締めしてください。



※ メンテナンススペースは必ず設けて下さい。

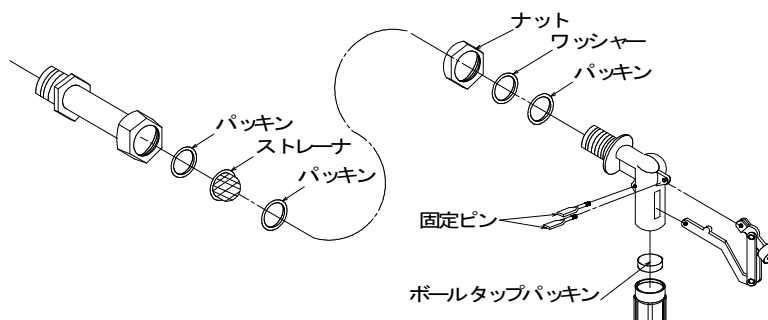
上方 200mm 以上、左右下方も作業のできるスペースを確保して下さい。

## ■配管工事

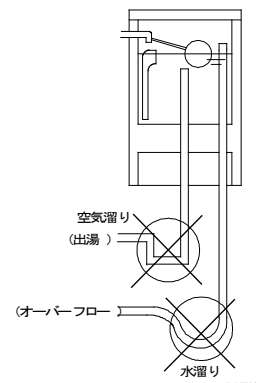
- ・ 新設配管の時は、配管内のごみを完全に除去してから接続してください。
- ・ 給水・給湯の材質は、飲料に支障のないものを使用して下さい。

## ■給水・給湯配管

- ・ 給水口の組み替えは右図のように取り外し、反対側のメクラを取り、外した順序の逆の順序で組み立てて下さい。その時、給水水受け管の組み替えも忘れずに行なって下さい。給水水受け管は引っ掛け式になっていますので上方へ引き抜き反対側の爪に引っ掛けて下さい。
- ・ 給水管に金属フレキ管を使用される場合、バイブレーション（振動）を起し異音が発生しやすくなります。フレキ管は必ず給水口近くの壁等にしっかりと固定して下さい。
- ・ 給水圧力が高い場合は減圧弁を入れてください。



- 給湯配管材料は、熱湯が流れますので耐熱性のものを使用してください。
- この湯沸器は開放式の構造です。給湯圧力が自然落下分の圧力しかありませんので、給湯配管は給湯口より下り勾配にして下さい。尚、配管を一度下げた後さらに立ちあげますと上部に空気がたまりがお湯が出ないことがあります。
- 湯栓は必ず給湯用（吊りコマ式熱湯用）を御使用下さい。水用を使用しますと、熱湯のため止まらなくなることがあります。
- 配管には保温をすることをお勧めします。
- Wタイプ、Sタイプには、給湯口が熱湯口と混合湯口があります。飲料用には、熱湯口を利用して頂き洗い等には、混合湯口を利用して下さい。
- 混合湯は、混合水栓に接続することができます。
- 混合湯の配管の長さは、5曲り3mまでにして下さい。
- Wタイプ、Sタイプの混合湯給湯口は、湯栓1個分の出湯量に調節してありますので複数個の湯栓を設けますと同時にご利用できません。
- Wタイプで混合水栓の先端には、浄水器等を取り付けますとぬるま湯が出なくなることがありますので取り付けないで下さい。

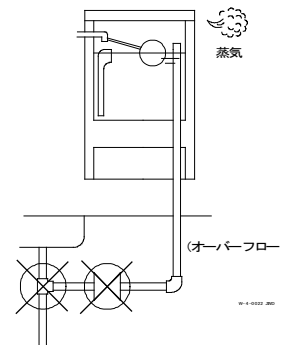


## ■凍結予防

- この湯沸器には凍結防止装置が付いており湯温が5°Cになると自動的にヒーターに通電します。但し、運転が停止されている場合作動しません。

## ■オーバーフロー配管

- オーバーフローの配管は、衛生上・メンテナンス上から排水への直結はさけてください。排水管の臭いがお湯に付く場合があります。
- 蒸気が出ますので配管は熱に強い材質のものを使用して下さい。また、配管は匂いのでない材質にして下さい。匂いが逆流してお湯に臭いが付く場合があります。
- 配管は絶対に下り勾配にしバルブ等は設けず開放にして下さい。上り勾配の場合、安全装置が発生しアラームが鳴る場合があります。  
(別頁・「故障かな?と思ったら」中のエラーコードの内容を参照してください。)



## ■電気配線工事

- 銘板に表示されている電源、電圧、相を確認して下さい。
- 湯沸器単独で漏電ブレーカーを必ず設けアースは省令に従い必ず取って下さい。
- 電源コンセントは、電源コードの標準長（置台 1.5m 壁掛 0.65m）の範囲内で設けて下さい。なお、容量は銘板に記載されている消費電力以上のものを用意して下さい。
- オプションのリモコンの設置は、リモコンに付属する工事説明書に従って下さい。

## ■設置工事後の点検、確認

- 可燃物からの隔離距離を確かめてください。
- 保守、点検ができるスペースを確保しているか確認してください。
- 附属品類が正常に取付いているか確かめて下さい。
- 実際の使用水圧で配管接続部より水漏れがないか確認して下さい。給水圧をかけた状態でしばらく時間をおいて再度漏れがないか確認して下さい。

## ■試運転

正しく設置工事されていることを確認してから次の要領で試運転を行って下さい。  
給水栓を開き給湯栓より水が出ることを必ず確認して下さい。

1. 電源プラグをコンセントに差込んで下さい。
2. 運転を押して下さい。ヒーターランプが点灯し加熱状態になります。
3. 強制運転を押して下さい。左2桁の表示が95になりヒーターランプが点灯し加熱状態になります。時間と共に右2桁の湯温度が上昇することを確認して下さい。
4. Vを押して湯温度と同じにして下さい。ヒーターランプが消灯することを確認して下さい。
5. 運転を2秒間押し続けて下さい。停止します。
  - エラー又は異常がある時は、故障かな?と思っただらの項を読んで対処して下さい。
  - 試運転終了後、そのまま使用しない場合は電源コンセントを抜き、給水元栓を閉止して下さい。

## ■お客様への説明

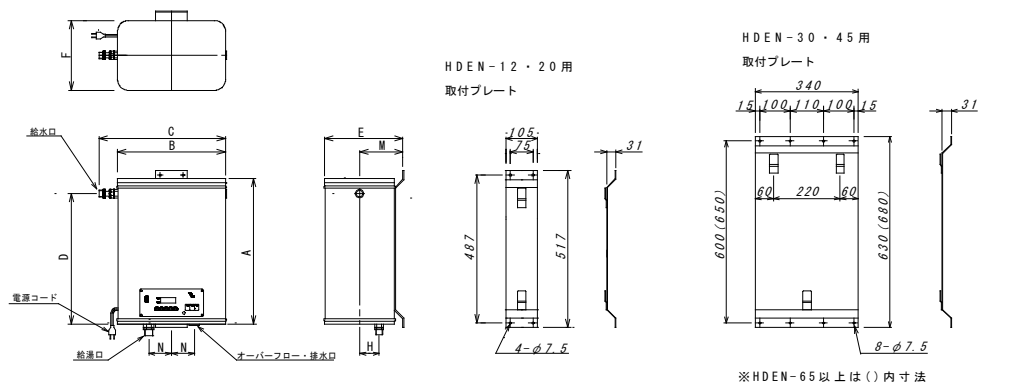
- ・ 使用方法を取扱い説明書に従ってお客様へ説明して下さい。

## 仕 様

| 製品名        | 電気貯蔵湯沸器                            |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
|------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|
| 型式名        | HDEN-12                            | HDEN-20            | DEN-30<br>HDEN-30 | DEN-45<br>HDEN-45 | HDEN-65 | HDEN-80 | HDEN-105 |         |         |         |
| 設置方式       | 屋内式                                |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 設置形態       | DENは置台型、HDENは壁掛型                   |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 給水方式       | シスターン式、水道直結式                       |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 使用水圧       | 294kPa(3.0kgf/c m <sup>2</sup> )以内 |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 定格電圧       | 単相 100V<br>単相 200V                 | 単相 100V<br>単相 200V | 単相 200V           | 単相 200V           | 三相 200V | 三相 200V | 三相 200V  | 三相 200V | 三相 200V | 三相 200V |
| 消費電力       | 1.5kW                              | 1.5kW              | 3.0kW             | 3.0kW             | 6.0kW   | 6.0kW   | 6.0kW    | 6.0kW   | 9.0kW   | 9.0kW   |
| 電源コードの長さ   | 標準 置台型 1.5m 壁掛型 0.65m              |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 接続         | 給水                                 | R1/2               |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
|            | 給湯                                 | R1/2               |                   |                   | R3/4    |         |          |         |         |         |
|            | オーバー排水                             | G3/4               |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 附属品        | 取扱・工事説明書、壁取付プレート                   |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 外形寸法       | HDEN                               | HDEN               | DEN               | HDEN              | DEN     | HDEN    | HDEN     | HDEN    | HDEN    | HDEN    |
| 高さ mm      | 480                                | 615                | 605               | 625               | 950     | 775     | 950      | 922     | 960     | 960     |
|            | 幅 mm                               | 355                | 355               | 420               | 420     | 420     | 420      | 420     | 490     | 535     |
|            | 奥行 mm                              | 230                | 230               | 300               | 300     | 300     | 300      | 300     | 367     | 405     |
| 重量         | 8kg                                | 10kg               | 14kg              | 19kg              | 21kg    | 28kg    | 28kg     | 32kg    | 32kg    | 32kg    |
| 有効出湯量      | 最高温度から80℃までの出湯量                    |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
|            | 9L                                 | 15L                | 22.5L             | 33.8L             | 48.8L   | 60L     | 78.8L    | 78.8L   | 78.8L   | 78.8L   |
| 貯湯量        | 12L                                | 20L                | 30L               | 45L               | 65L     | 80L     | 105L     | 105L    | 105L    | 105L    |
| 湯上がり時間     | 水温15℃の時                            |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
|            | kW                                 | 1.5                | 1.5               | 3                 | 3       | 3       | 6        | 6       | 9       | 9       |
|            | 分                                  | 49                 | 82                | 41                | 63      | 90      | 61       | 72      | 70      | 70      |
| 最高設定温度     | 沸騰 (FU)                            |                    |                   |                   |         |         | 95℃      |         |         |         |
| サーモスタットの種類 | ウィークリープログラムタイマー内臓温度調節器 (マイコン式)     |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 本体の材質      | SUS-316                            |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| ヒーターの種類    | シーズヒーター SUS-316L                   |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |
| 停電保証       | 14日間 (充電式)                         |                    |                   |                   |         |         |          |         |         |         |

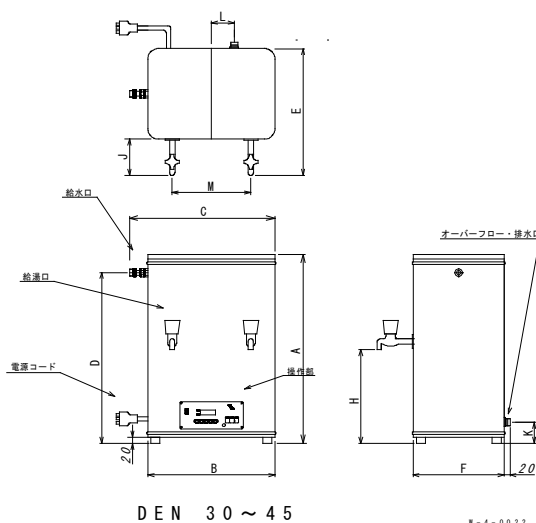
■寸法図

壁掛型 HDEN



W-4-0022

置台型 DEN



W-4-0022

■寸法表

◇壁掛型

(mm)

| 記号<br>型式 | A   | B   | C   | D   | E   | F   | H   | M   | N  |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| HDEN-12  | 480 | 355 | 415 | 430 | 261 | 230 | 65  | 146 | 65 |
| HDEN-20  | 615 | 355 | 415 | 565 | 261 | 230 | 65  | 146 | 65 |
| HDEN-30  | 605 | 420 | 480 | 545 | 331 | 300 | 90  | 181 | 75 |
| HDEN-45  | 775 | 420 | 480 | 715 | 331 | 300 | 90  | 181 | 75 |
| HDEN-65  | 950 | 420 | 480 | 890 | 331 | 300 | 90  | 181 | 75 |
| HDEN-80  | 922 | 490 | 566 | 842 | 414 | 367 | 100 | 231 | 80 |
| HDEN-105 | 960 | 535 | 611 | 875 | 452 | 405 | 100 | 250 | 80 |

◇置台型

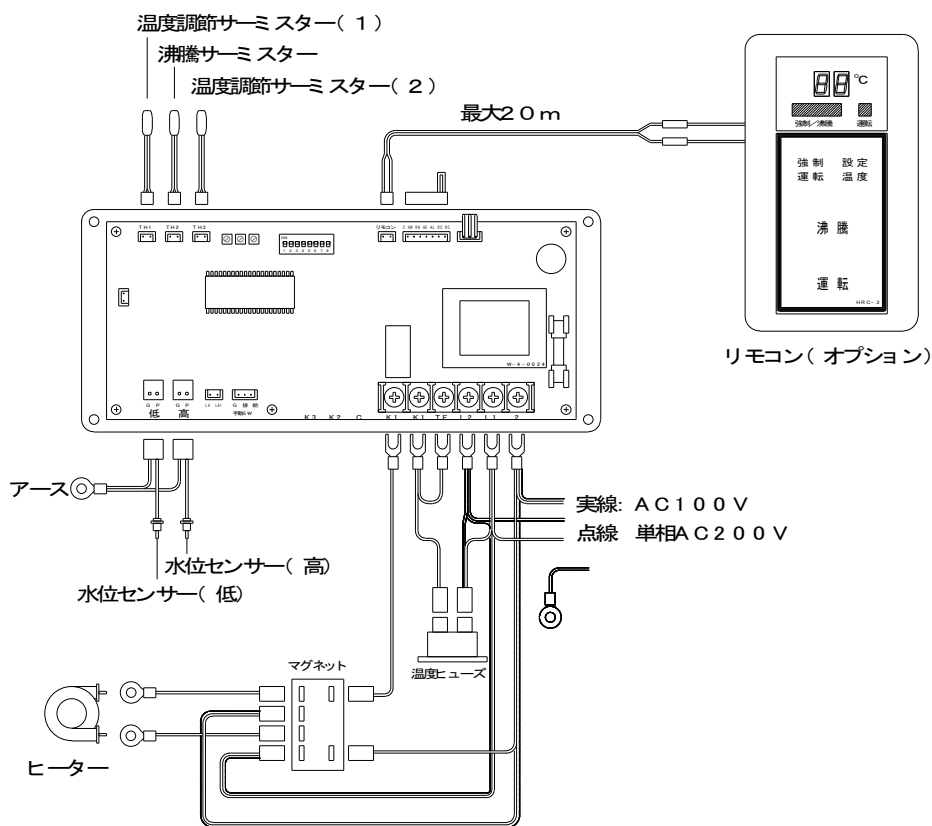
(mm)

| 記号<br>型式 | A   | B   | C   | D   | E   | F   | H   | J   | K  | L  | M   |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| DEN-30   | 625 | 420 | 480 | 565 | 420 | 300 | 310 | 120 | 70 | 75 | 260 |
| DEN-45   | 795 | 420 | 480 | 735 | 420 | 300 | 385 | 120 | 70 | 75 | 260 |

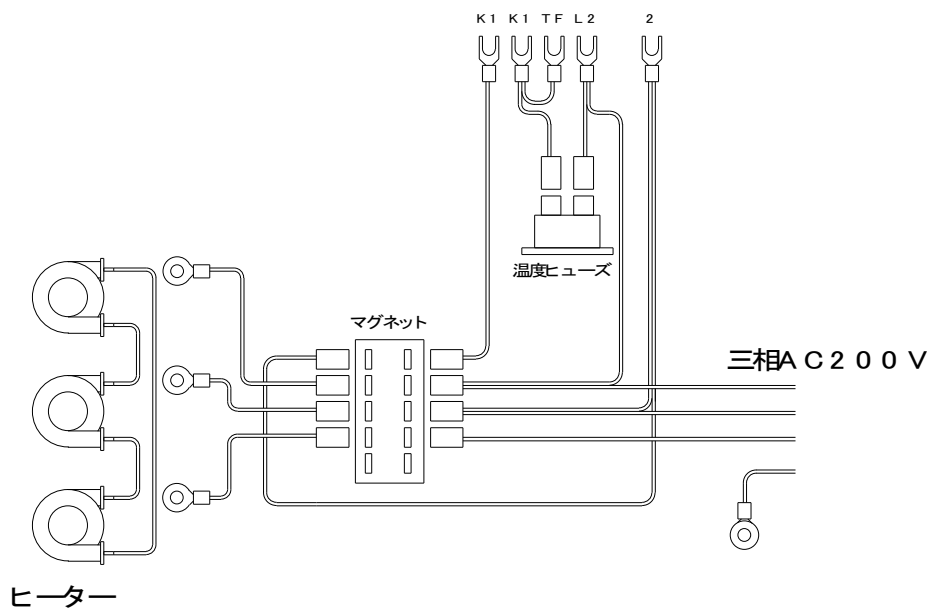


■ 結線図

◎ 单相の場合



◎ 三相の場合



## アフターサービスについて

サービス（修理）のご依頼をされる前にもう一度「故障かな？と思ったら」を確認の上、販売店もしくは細山熱器（株）サービス課までご連絡ください。

アフターサービスをお申し付けの際は次のことをお知らせください。

|            |             |
|------------|-------------|
| 品名：電気湯沸器   | 電源電圧：〇〇〇V   |
| 型式：銘板表示のもの | 製造番号：〇〇〇〇   |
| 電源の相：〇相    | ヒーター容量：〇〇kW |
| エラーコード：E〇  |             |

※ 上記内容は本体側面のシールでご確認ください。  
操作部マイコンの表示は型式ではありません。

故障内容、異常の状況をできるだけ詳しくお伝えください。又、お客様の御住所、電話番号、会社名、担当者名をお知らせください。

尚、製品の修理に関するお問い合わせは下記までお願いします。

| 拠点名          | 電話番号                                 | 住所                                    |
|--------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 細山熱器（株）本社    | TEL 03-3249-0331<br>FAX 03-3249-0329 | 〒103-0025<br>東京都中央区日本橋茅場町<br>2-8-7    |
| 細山熱器（株）札幌営業所 | TEL 011-736-0371<br>FAX 011-758-0739 | 〒001-0019<br>札幌市北区北19条西5-1-22         |
| 細山熱器（株）新潟営業所 | TEL 025-246-0166<br>FAX 025-241-3833 | 〒950-0916<br>新潟市中央区米山1-5-5            |
| 細山熱器（株）大阪営業所 | TEL 06-6922-5581<br>FAX 06-6921-2040 | 〒535-0031<br>大阪市旭区高殿2-7-19            |
| 細山熱器（株）福岡営業所 | TEL 092-403-0255<br>FAX 092-403-0257 | 〒815-0033<br>福岡市南区大橋3-25-1<br>貞方ビルD号室 |
| 細山熱器（株）仙台出張所 | TEL 022-272-0909<br>FAX 022-275-9473 | 〒981-0916<br>仙台市青葉区青葉町5-3             |

インターネット [www.hosoyama.co.jp](http://www.hosoyama.co.jp) でも受け付けております。

## 取扱説明書の再入手方法

この取扱説明書を紛失した場合、最寄りの営業に依頼して下さい。有料にて手配致します。

尚、依頼される時は取説番号をお伝え下さい。

この取扱説明書の取説番号は、U-取説-002です。